

経済・金融
フラッシュ

企業物価指数 2025 年 4 月

～国内企業物価は 5 ヶ月連続で前年比 4% 台～

経済研究部 研究員 佐藤 雅之

TEL:03-3512-1831 E-mail: m-sato@nli-research.co.jp

1. 国内企業物価は 5 ヶ月連続で前年比 4% 台

日本銀行が 5 月 14 日に発表した企業物価指数によると、2025 年 4 月の国内企業物価は、前年比 4.0%（3 月：同 4.3%）と、5 ヶ月連続で 4% 台の高い伸びとなった。

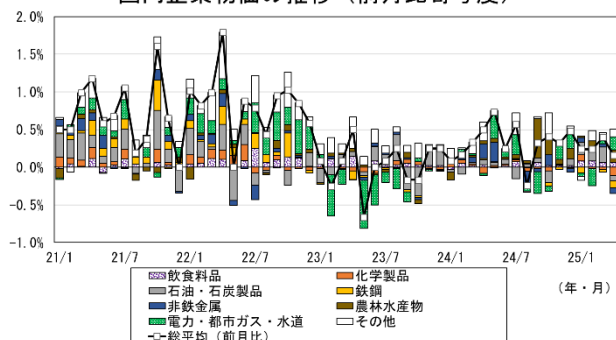
内訳をみると 23 類別中、19 類別が上昇、4 類別が低下となった。精米が前年比 80.0%、玄米が同 72.2%とコメ価格の高騰が続いていることから、農林水産物は前年比 42.2%（3 月：同 39.1%）となった。また、4 月 1 日からの酒類の値上げを受けて、ビールが同 2.6%（3 月：同▲0.1%）、果実酒・チューハイが同 3.3%（3 月：同 1.3%）と、飲食料品は前年比 3.6%（3 月：同 3.4%）と前月から伸びを高めた。電気・都市ガス代の支援策は 3 月使用分（4 月請求分）で値引き額が縮小したことから、事業用電力が前年比 12.2%（3 月：同 7.4%）となり、電力・都市ガス・水道は、前年比 10.1%（3 月：同 6.5%）と前月から伸びを高めた。

企業物価指数の推移

	国内企業物価		輸出物価 （円ベース）		輸入物価 （円ベース）	
	前月比	前年比	前月比	前年比	前月比	前年比
24年 3月	0.3	0.9	0.7	9.0	-0.2	1.7
4月	0.5	0.9	2.2	11.1	2.1	7.0
5月	0.7	2.3	1.6	11.0	2.3	7.1
6月	0.2	2.6	0.8	10.5	0.6	9.6
7月	0.6	3.1	0.0	10.3	0.4	10.7
8月	-0.2	2.6	-5.2	2.5	-6.2	2.5
9月	0.3	3.1	-1.7	-1.0	-2.9	-2.6
10月	0.4	3.7	2.5	0.9	2.9	-2.3
11月	0.3	3.8	1.9	2.5	1.7	-1.2
12月	0.5	4.0	-0.7	4.5	-0.7	1.4
25年 1月	0.2	4.2	1.4	4.7	1.3	2.2
2月	0.2	4.2	-1.6	1.7	-1.9	-1.1
3月	0.4	4.3	-0.9	0.1	-1.5	-2.4
4月	0.2	4.0	-2.1	-4.2	-2.9	-7.2

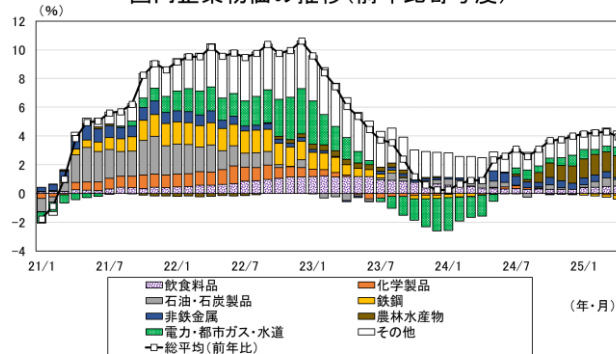
（資料）日本銀行「企業物価指数」

国内企業物価の推移（前月比寄与度）



（資料）日本銀行「企業物価指数」

国内企業物価の推移（前年比寄与度）



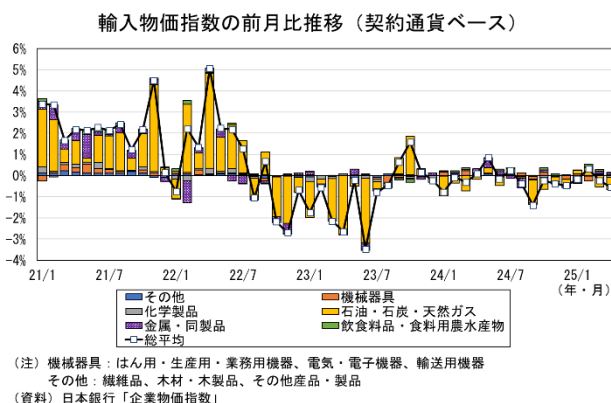
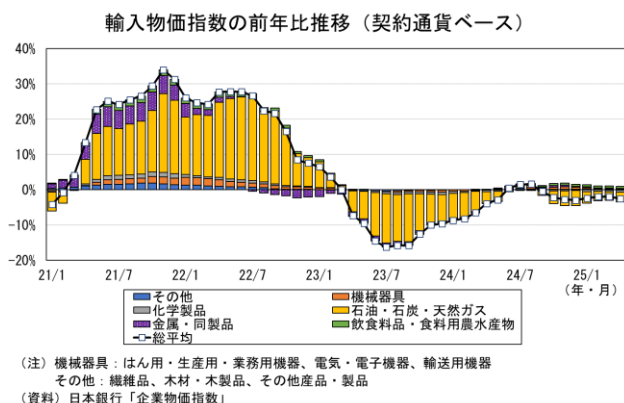
（資料）日本銀行「企業物価指数」

2. 円ベースの輸入物価は前年比▲7.2%

4月の契約通貨ベースの輸入物価は、前年比▲2.6%（3月：同▲2.0%）と8ヵ月連続のマイナスとなった。内訳をみると、ガソリンが前年比▲22.4%と9ヵ月連続のマイナス、ジェット燃料油が同▲15.2%となったことなどから、石油・石炭・天然ガスは前年比▲9.1%（3月：同▲7.8%）と8ヵ月連続でマイナスとなった。

契約通貨ベースの前月比では、▲0.6%（3月：同▲0.2%）と2ヵ月連続のマイナスとなった。内訳をみると、原油が前月比▲1.3%と2ヵ月連続のマイナス、液化天然ガスが同▲1.1%と3ヵ月連続のマイナスとなったことなどから、石油・石炭・天然ガスは前月比▲2.1%（3月：同▲1.8%）と2ヵ月連続でマイナスとなり、全体を押し下げた。

4月の為替相場は、対ドルでは144円台（前月比▲3.2%）と前月よりも円高水準で推移したため、為替要因による押し下げ効果から、円ベースの輸入物価は前月比▲2.9%（3月：同▲1.5%）、前年比では▲7.2%（3月：同▲2.4%）と大幅なマイナスとなった。



3. 先行きの国内企業物価は鈍化傾向が続くと予想

国内企業物価は前年比の伸び率が前月から鈍化したものの、5ヵ月連続で前年比4%台となった。先行きについては、電気・都市ガス代の支援策が2025年3月使用分（4月請求分）で終了したことから、エネルギー価格の上昇率は高止まりすることが見込まれる。農林水産省が5月12日に発表したコメの平均店頭価格は、18週ぶりに値下がりしたものの、値下がりとは小幅となっており、今後も高止まりが継続するだろう。飲食料品の上昇率は前年比3.6%と、2023年夏頃（同8%台後半）に比べれば低水準にとどまっているが、食料品値上げの動きはしばらく続く可能性が高い。

国内企業物価は、電気・都市ガス代支援策が終了したことが押し上げ要因となるものの、足もとの原油価格の下落や、備蓄米の流通によるコメ価格の緩やかな下落により、5月に3%台となった後、鈍化傾向が続くと予想される。